

「兵庫県林業会館」の見学会を実施しました!!

日本複合・防音床材工業会では、資材流通委員会主催で工業会の正・賛助会員を対象に会員の知見アップを目的とした各種見学会を企画・開催しております。

今回は、CLTと鉄骨ハイブリッド構造を日本で初めて採用した都市型木造耐火オフィスビル「兵庫県林業会館」を見学しました。

- 日時：10月29日（火）13:30～14:30
- 場所：「兵庫県林業会館」神戸市中央区北長狭通5-5-18
- 見学者：13名
- 対象：工業会の正会員及び賛助会員（見学は無料、現地集合・現地解散）



【概要】

CLT(Cross Laminated Timber)とはラミナ(ひき板)を並べた層を板の方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判パネルで、新しい木質構造材料。旧館建て替えに際して、兵庫県産木材の使用拡大を図るため「CLT+鉄鋼ハイブリッド構造」が採用されました。(2019年竣工) CLT利用を推進して民間施設への波及を目指す「都市型木造ビル」として広告塔の役割を果たしています。



【建築・構造】

地上5階建て(敷地 355㎡、延床 1567㎡)の2～5階部分の間仕切り・耐力壁、床にCLTを使用。(CLT使用量 225㎡) ハイブリッド構造による耐震性能によって細い鉄骨フレームが使用可能となり、さらに床にもCLTを用いることで、通常の鉄骨造より躯体を約3割軽量化。工期短縮に繋がったとの事。

さらに軽量効果で無柱の大空間が可能となった上、間仕切りが将来のレイアウト変更に対応しているので、オフィスビルとして使いやすいというもポイント。

CLTは基本的にスギを利用し、外から見ると市松模様になっている耐力壁は室内から見ても存在感があり、木の温もりを感じさせるオフィスになっていました。

都市部における木材利用の新たな可能性を提案した同館がモデルとなって、全国に国産木材をたくさん使った都市型木造建築物が増えてほしいものです。



※日本複合・防音床材工業会では会員を対象に適宜、展示場や工場見学を実施しています。